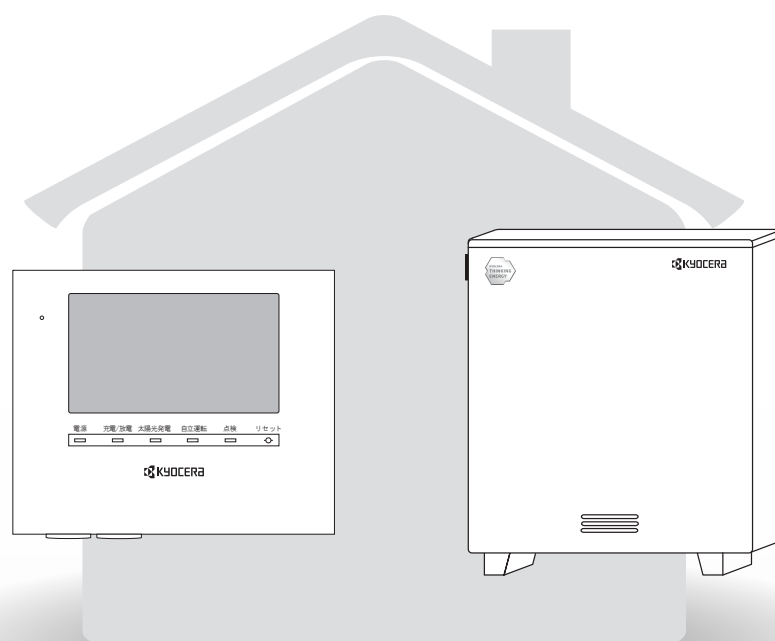




リチウムイオン蓄電システム

取扱説明書

蓄電システム
EGS-LM1201
室内リモコン
EGS-RM03



このたびは、京セラ蓄電システム EGS-LM1201 および室内リモコン EGS-RM03 を
ご購入いただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、保証書とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

安全のために必ずお守りください	3
取り扱い上のお願い	5
もしもの「安心」、いつもの「節電」	6

使い方

室内リモコン各部の名称とはたらき	8
室内リモコンの本体について	8
室内リモコンの表示について	8
通常時の使い方（連系運転）	9
充放電を一時的に止めたい場合	9
停電時の使い方（自立運転）	10
停電時の家電製品の利用について	10
復電時の操作	11
グラフを表示する	11
お知らせを確認する	12
登録情報を確認する	13

設定

運転モードを選ぶ	14
非常時（停電時）の設定をする	18
非常時設定について	20
充放電時間を設定する	21
室内リモコンのタッチパネルや操作音の設定を変える	23
ネットワークの設定について	25
日時の設定	26

点検とアフターサービス

こんなときは	28
ブザーが鳴ったとき	28
機器から発生する音について	28
アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合	28
アンペアブレーカの容量を変更する場合	28
蓄電システムが停止した（停止させる）場合	28
特定コンセントが頻繁に落ちる場合	28
室内リモコンの画面が表示されない場合	29
停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合	29
長期不在の場合	30
風水害または地震時の対応	33
点検コードが表示されたとき（点検ランプが点滅しているとき）	34
HEMS の充放電電力量について	35
放電中の動作について	35
室内リモコンのリセット	35
蓄電池のメンテナンスモードについて	36
補助金に関するご注意	37
購入時に補助金の交付を受けた方	37
保証とアフターサービス	38
保証について	38
アフターサービスについて	38

その他

仕様	39
外形寸法	40
ソフトウェアライセンスについて	41

安全のために必ずお守りください

- ご使用の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

はじめに

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるよう指示する表示		* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	* 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起る可能性がある場合の禁止の通告
	* 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告

共通		
■ 取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する ● 不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。 	■ 分解・改造をしない ● 感電や傷害を負う恐れがあります。 	■ 特定コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない ● 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。パソコンなどのデータが破損する恐れがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器（医療機器など）には絶対に使用しないでください。 
■ 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない ● 火災・感電・故障の原因となります。 	■ 子供を近づけない ● 感電・やけど・火災の恐れがあります。 	

警告

蓄電システム		
■蹴ったりして強い衝撃を与えない ●変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災の恐れがあります。	■上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない ●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。	■可燃性ガスや引火物を近くに置かない（60cm 以内） ●電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。
■蓄電システムの上に物を置かない ●装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。	■吸排気口などに物（金属、紙、水など）を差しこんだり中に入れたりしない ●火災・感電・故障の原因となります。	■電気が蓄えられているので、取り扱いに注意する ●屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしても感電や傷害を負う恐れがあります。十分注意してください。
■煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にする ●そのまま使用すると、火災の原因となります。販売会社にご連絡ください。	■フロントパネルやメンテナンスパネルを開けない ●内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。	

注意

共 通		
■非常時設定では、負荷によって使用できないものがある ●ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。	■ぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない ●感電の原因となることがあります。	
蓄電システム		
■アース工事を行う（D 種接地工事） ●アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。 アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。	■近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない ●引火し、やけど・火災の原因となることがあります。	■点検コードが連続的に表示されている状態のまま放置しない ●蓄電池が充電されないため使用できなくなり、電池交換（有償）となる可能性があります。

取り扱い上のお願い

はじめに

共通

■ 次のような場所には取り付けない

蓄電システム

- ☐ 標高 1500m より高いところ
- ☐ 岩礁隣接地域
- ☐ 重塩害地域
- ☐ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- ☐ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- ☐ 油蒸気のあるところ
- ☐ 浸水の恐れがあるところ
- ☐ 電界の影響が大きいところ
- ☐ 風通しが悪いところ
- ☐ 販売会社で決められていないところ
- ☐ 結露および氷結のあるところ

※ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します
温度：－ 20℃～＋ 40℃

室内リモコン

- ☐ 屋外
- ☐ 温度変化が激しいところ
- ☐ 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
- ☐ 振動、衝撃の影響が大きいところ
- ☐ 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ
- ☐ 電界の影響が大きいところ
- ☐ 直射日光が当たるところ
- ☐ 次の温度範囲以外のところ
温度：0℃～＋ 40℃



■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない

- 製品の変色の原因となります。



■ 取扱説明書を熟読する

- ご使用される前には、取扱説明書や製品の注意書きをよくお読みになり、正しくご使用ください。



蓄電システム

■ 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない

- テレビの画面が乱れたり、ラジオに雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。
- 受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。



■ 特定コンセントには AC100V で連系時最大 20A (2000W) 未満、停電時に PV パワコンと接続している場合は最大 15A (1500W) 未満の機器を接続する

- 機器の故障の原因となる場合があります。



■ 廃棄処理・リサイクルについて

- 廃棄する場合は、販売会社にお問い合わせください。



■ 吸気口を塞いだり吸気口付近に荷物を置いたりしない

- 温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



■ 積雪時は吸排気口が塞がらないよう点検・除雪を行う

- 行わない場合、温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



■ 落雪等で吸排気口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲い等の処置を行う

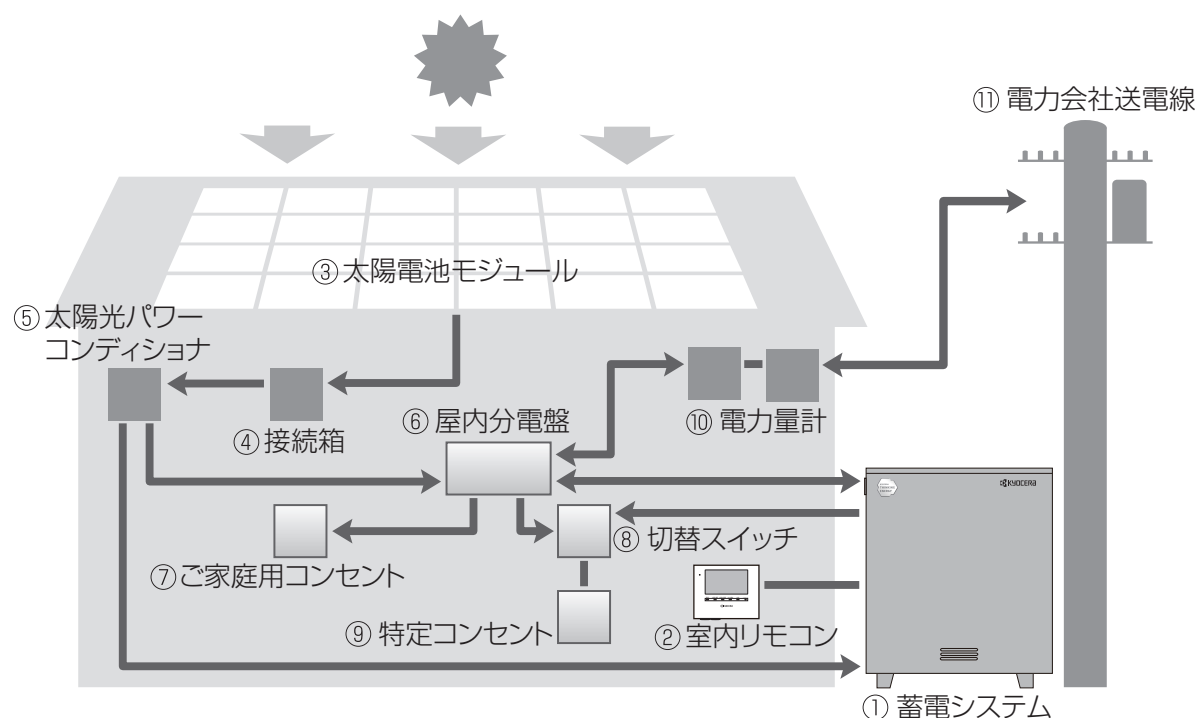
- 行わない場合、温度上昇により蓄電システムが自動停止する可能性があります。



もしもの「安心」、いつもの「節電」

はじめに

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光発電と蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「蓄電システム」です。



① 蓄電システム

リチウムイオン電池、蓄電パワーコンディショナで構成され、太陽光発電または系統の電力を蓄えます。必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。
充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池モジュール

太陽光を受けて発電します。

④ 接続箱

太陽電池モジュールからのケーブルを太陽光パワーコンディショナに接続します。

⑤ 太陽光パワーコンディショナ

太陽電池モジュールが発電した電力（直流）を、ご家庭で使える電力（交流）に変換します。また、太陽光発電システム全体の運転を制御します。

⑥ 屋内分電盤

漏電ブレーカと太陽光発電用ブレーカ、蓄電システム用ブレーカを内蔵しています。

⑦ ご家庭用コンセント

⑧ 切替スイッチ

蓄電システムの故障時には、屋内分電盤内または横の切替スイッチを「系統」側にします。通常（連系）時は「蓄電」側にします。

⑨ 特定コンセント

停電時にも利用したい機器を接続して使用します。

⑩ 電力量計

売電用と買電用の２種類があり、電力会社に売った余剰電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

⑪ 電力会社送電線

不足電力を電力会社から購入し（買電）、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時や計画停電に備えて、大容量の蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。蓄電システムからの電力供給は、普段からお使いの特定コンセントに自動で切り替わり、突然の停電でもコンセントの差し替えなどは不要です。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池を併用して電力を供給します。
- 雨や曇りの日・夜間の停電でも、深夜電力で充電された蓄電池から電力を供給（放電）します。
- 停電時に冷蔵庫、液晶テレビ、LED 照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大 23 時間^{*}動かすことができます。

※ 特定コンセントに約 430W の家電製品を接続した場合の目安です。
実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

いつもの生活では「節約」！

系統電力と連系して、電気料金の安い深夜電力を蓄電池に充電し、充電しておいた電力は、朝・夕の電力使用ピーク時に効率よく利用でき、電気料金の節約になります。

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

また、この製品は次のような特長により便利に活用できます。

▶ 室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

室内リモコンの画面で充電電力と放電電力が一目でわかります。タッチパネルを採用しており、画面を見ながらボタンをタッチするだけで、かんたんに操作できます。非常時は、画面のメッセージで操作をご案内するため、困ったときも安心です。

▶ HEMS と連携

HEMS（Home Energy Management System）へ電力使用のデータを転送して、ご家庭での節電を賢く管理します。HEMS を利用する場合は、販売会社にご確認ください。

▶ 大容量のリチウムイオン蓄電池搭載

大容量 12kWh^{*}のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

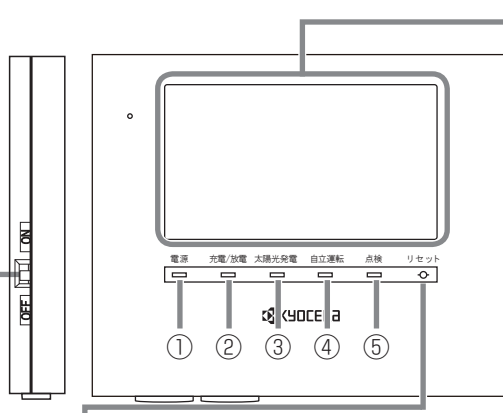
※ 電池長寿命化のために、実際の充放電容量は、蓄電池容量の 9 割程度で運転しています。
また、低温時は容量が一時的に減少する場合があります。

室内リモコン各部の名称とはたらき

室内リモコンの本体について

使い方

電源スイッチ
リモコンの電源をON/OFFします。



リセットボタン

室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。(P.35 ページ)

画面

表示画面を兼ねたタッチパネルです。充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

①電源ランプ

室内リモコン ON 時に点灯します。

②充電／放電ランプ

運転状態を表示します。

橙：充電 緑：放電 消灯：待機／停止

③太陽光発電ランプ

太陽光発電中に点灯します。

④自立運転ランプ

自立運転中に点灯します。

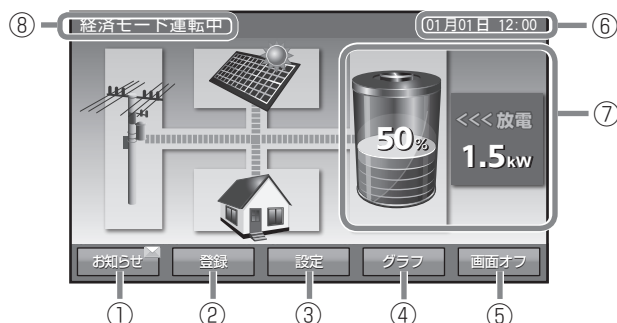
⑤点検ランプ

点検コード発生中に点滅します。

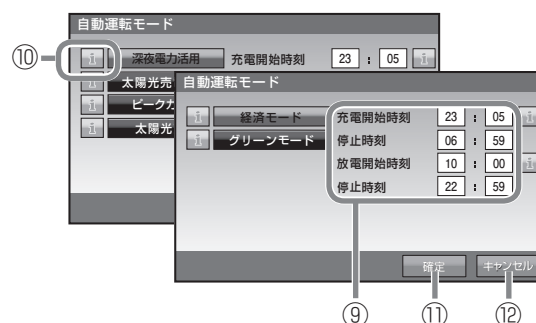
室内リモコンの表示について

この製品は、室内リモコンの画面をタッチしてさまざまな操作を行います。

■例：ホーム画面



■例：自動運転モード設定画面



<ホーム画面>

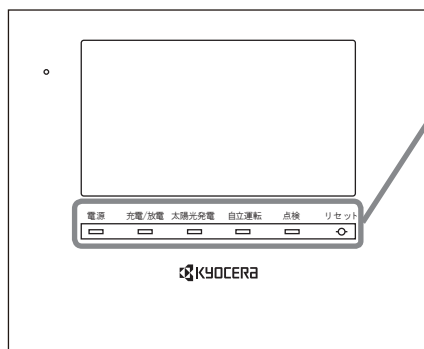
① お知らせ	タッチするとお知らせが参照できます。未読のお知らせがある場合、[お知らせ]部に ㊟ マークが表示されます。
② 登録	タッチすると蓄電システムに関する情報を表示します。
③ 設定	タッチすると各種設定の画面を表示します。
④ グラフ	タッチすると過去の充放電履歴をグラフで表示します。
⑤ 画面オフ	タッチすると画面が消えます。再度画面をタッチすると表示します。
⑥ 時計	現在日時を表示します。
⑦ 充放電情報	蓄電池の残量や充放電の電力量を表示します。
⑧ 運転モード	現在の運転モードを表示します。ECHONET Lite 等の室内リモコン以外から運転モードを変更した際は先頭に「リモート」と表示されます。

<自動運転モード設定画面>

⑨ 充電／放電時刻設定	タッチすると蓄電池システムの充放電時間を設定する画面を表示します。
⑩ ⓘ	タッチすると機能の説明を表示します。
⑪ 確定	タッチすると設定した内容を保存します。
⑫ キャンセル	タッチすると設定を保存せずに元の画面に戻ります。

通常時の使い方（連系運転）

太陽電池で発電した電力または夜間に蓄電した電力を住宅用分電盤に供給します。

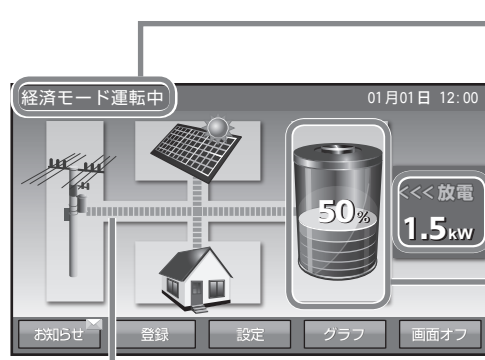


電源を ON にすると電源ランプが点灯し、数分後にホーム画面が表示されます。

- 点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に点検コードが表示されます。
「点検コードが表示されたとき」（P. 34 ページ）に従って処置してください。

使い方

■ ホーム画面



運転モードと動作状態

- 運転中： 充放電している状態
- 待機中： 充放電していない状態
- 停止中： 点検コード発生状態

充放電情報

蓄電池残量（目安）

※ 蓄電池残量は、100%、0%と表示されても、しばらくすると、99%、1%のように表示が変わる場合があります。

これは、一度使い切った乾電池でもしばらくすると、少しだけ使えるように、電池の基本特性によるもので故障ではありません。また、非常時安心設定の表示も同様に表示が変わる場合があります。
リモコンの蓄電池残量は目安としてお使いください。

電力の流れ・太陽光発電状態の表示

系統・太陽光発電・家庭内コンセント・蓄電システム間の電力の流れイメージを表示します。

- 破線非表示 : 100W 未満
- 動きの遅い破線 : 100W 以上
- 動きの速い破線 : 1kW 以上

また、太陽光発電電力あり（100W 以上）の状態を太陽のアイコンで表示します。

※ 上記数値はおおよその目安です。

※ 電力契約によっては、充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房等）を多く使っている場合、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。
その場合は、電力契約の見直し等について販売会社に相談してください。

充放電を一時的に止めたい場合

故障以外に、充放電を止めたい場合は、「待機モード」を選択することで、充電、放電を行わないモードに設定することができます。設定方法は、「運転モードを選ぶ」（P. 14 ページ）を参照ください。

※ 「待機モード」は手動モードです。「充放電時間を設定する」（P. 21 ページ）で設定した充放電時間帯に関わらず、停止しているため、必要のない場合は、「経済モード」等の自動モードを選択してください。
なお、待機モードに設定しても、24 時間経過後に直前の自動運転モードに切り替わります。

停電時の使い方（自立運転）

- 蓄電池用分電盤の切替スイッチが「蓄電」側になっていることをご確認ください。「系統」側になっている場合は「蓄電」側に切り替えてください。停電が発生した場合、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

停電時の室内リモコンの表示は下図のようになります。



- ※ 停電時の動作中に太陽光パワーコンディショナに「EO」あるいは「STOP」などの点検コードを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度、自立運転に切り替えてください。

停電時の家電製品の利用について

■ 特定コンセントの定格出力は、2000VA（目安：2000W）です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、特定コンセントで定格（2000VA）を超える電力を使用されると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、特定コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品は、特定コンセントへの接続を避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合があります	掃除機、遠赤外線ヒーター、洗濯機等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合があります	電子レンジ、電気ストーブ等

- ・途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- ・突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- ・消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントの定格を超えないように工夫してください。太陽光発電連携時の定格は 1500VA（目安：1500W）になります。
- ・もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動させてください。
- ・エアコンや IH クッキングヒーターなどの 200V 家電製品は使用できません。

■ 下記の家電製品を最大 23 時間利用可能※です

接続家電製品例

- ・冷蔵庫：120W
- ・液晶テレビ：170W
- ・リビング用 LED シーリング照明：100W
- ・ノートパソコン、ルーター等：30W
- ・携帯電話充電（2 台）：10W
- 合計：約 430W

※おおよその目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。



復電時の操作

- 停電後復電した場合、蓄電システムは特別な操作は必要ありません。
- 太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を連系（通常）運転に切り替えてください。
- 電力会社との協議で定められた時間内（最大 5 分）は、復電しても停電時の動作になります。復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、蓄電システムは通常時のモードで動作します。

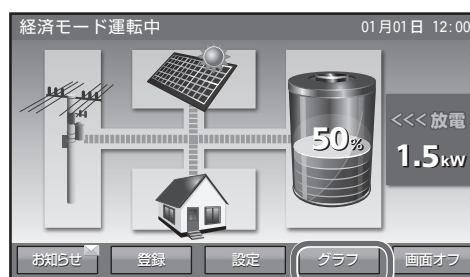
使い方

グラフを表示する

1 時間ごとの充放電電力量や電池残量を日ごとにグラフで表示できます。
充放電グラフ・電池残量は目安です。リモコンの電源を切っている間のデータは表示できません。

① グラフを表示する

ホーム画面で [グラフ] をタッチします。
現在日のグラフが表示されます。



② 日付を切り替える

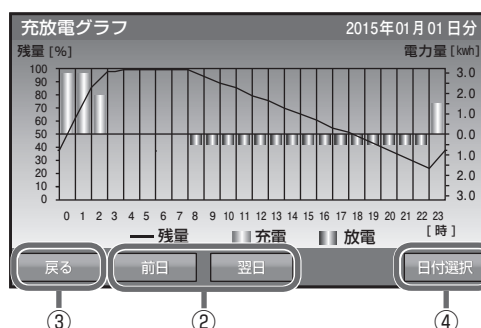
[前日] と [翌日] をタッチして切り替えます。

③ ホーム画面に戻る

[戻る] をタッチします。

④ 特定の日付を選択する

[日付選択] をタッチします。



⑤ 日付を設定する

日付の中で変更したい項目をタッチします。
数字キーをタッチして、新しい日時を入力します。
←/→をタッチすると、カーソルが移動します。
日付は、設置日から現在日の範囲で選択できます。

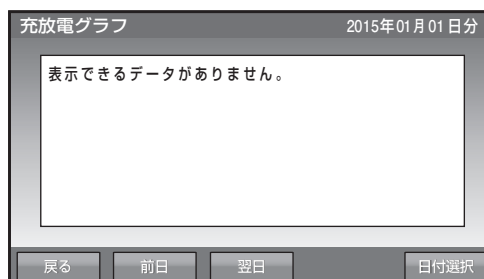
⑥ 入力した日付のグラフを表示する

[決定] をタッチする。

The '日付選択' (Date selection) screen shows a date picker for '2015' year, '1' month, and '1' day. Below the date picker is a numeric keypad with digits 0-9, a decimal point, and left/right arrow keys. To the right of the keypad are buttons: '消去' (Delete), '決定' (Decide), and 'キャンセル' (Cancel). A circled '5' points to the date picker, and a circled '6' points to the '決定' button.

(次ページに続く)

表示するデータがない日付では、右図を表示します。

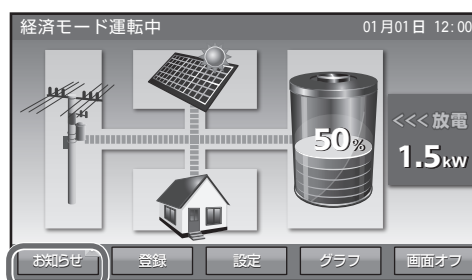


お知らせを確認する

蓄電システムや、室内リモコンの状態をお知らせします。

① お知らせリストを表示する

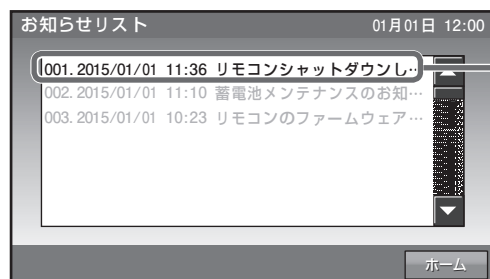
ホーム画面で「お知らせ」をタッチします。



② お知らせの内容を表示する

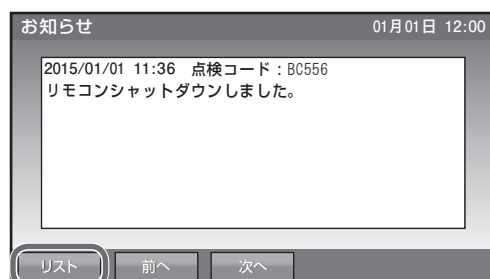
リストの中で表示したい項目をタッチします。リストには最大 100 件のお知らせを表示できます。未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーで表示されます。リモコン時刻未設定の場合は「--/--/-- --:--」で表示されます。

※お知らせが必要な状態から、お知らせのない状態に移行した時点で「お知らせが解除されました」とのメッセージが記録されます。

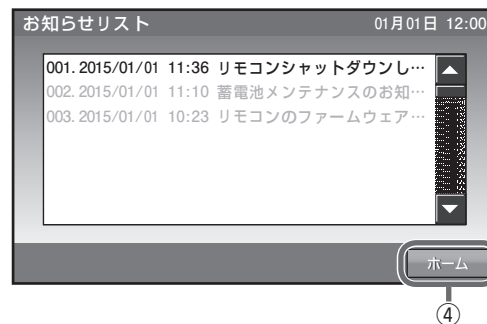


③ お知らせの内容が表示される

「リスト」をタッチすると、リスト画面に戻ります。



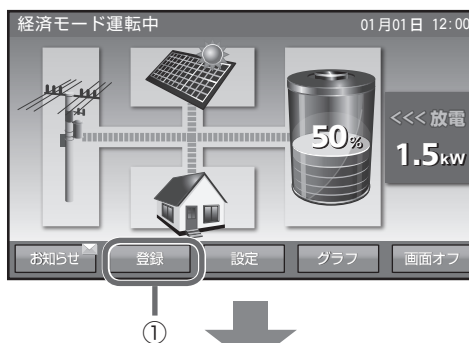
- ④ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



登録情報を確認する

蓄電システムに登録されている機器情報を確認します。

- ① 登録情報を表示する
ホーム画面で [登録] をタッチします。



- ② 登録情報の 1 ページ目が表示される
[前へ] や [次へ] をタッチすると、ページが切り替わります。(全 3 ページ)
以下の項目が表示されますが、蓄電システム動作に影響するものではありません。

- 蓄電ユニット 機種名 / 製造番号
- 蓄電池情報 容量
- 室内リモコン 機種名
- 設置日
- 設置場所
- 太陽光発電の有無
- 太陽光発電の定格出力
- 太陽光発電以外の発電装置の有無
- 電気給湯器の有無
- V2H※の有無
- 郵便番号 (変更可能)

※ V2H : Vehicle to Home
EV (電気自動車) の大容量バッテリーから電力を取り出し、分電盤を通じて家庭の電力として使用できる仕組み。



設定

運転モードを選ぶ

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。本書では、押し上げ設定「無」の場合を例にして説明しています。

※押し上げ設定の有無は、設置時に選択・設定します。設置・使用後、押し上げ設定の変更を行う場合は、電力会社と再契約を行い、蓄電用分電盤の交換やCTセンサーの取り付け場所を変更する必要があります。

- 押し上げ設定「有」の場合
昼間の使用電力は蓄電池から供給されます。その間に発電している太陽光発電は売電に回すことができます。
- 押し上げ設定「無」の場合
昼間の使用電力は、太陽光発電から供給されます。不足分の電力は蓄電池から供給されます。

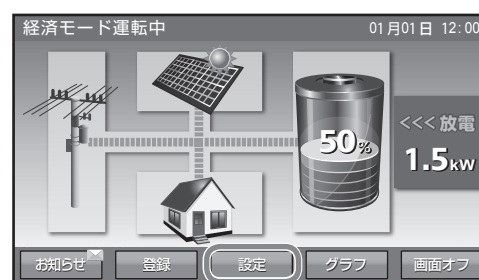
- 製品出荷時は次のとおりです。
押し上げ設定「無」の場合：[経済モード]
押し上げ設定「有」の場合：[太陽光売電優先モード]

- 押し上げ設定の「有」と「無」で、下表の運転モードを選んで頂けます。

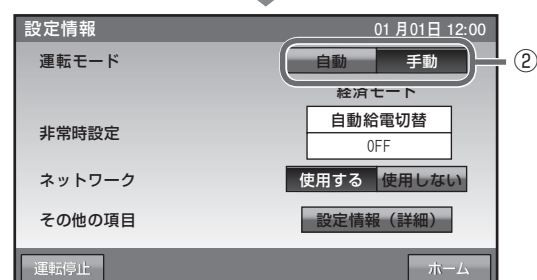
	押し上げ設定「無」	押し上げ設定「有」
自動運転モード	経済モード（推奨）	太陽光売電優先モード（推奨）
	グリーンモード	太陽光充電モード
		ピークカットモード
		深夜電力活用モード
手動運転モード		充電モード
		放電モード
		待機モード

各運転モードの詳細は16ページを参照してください。

- ① 設定情報画面に切り替える
[設定] をタッチします。



- ② 運転モード種類を選択する
運転モードの [自動] または [手動] をタッチします。

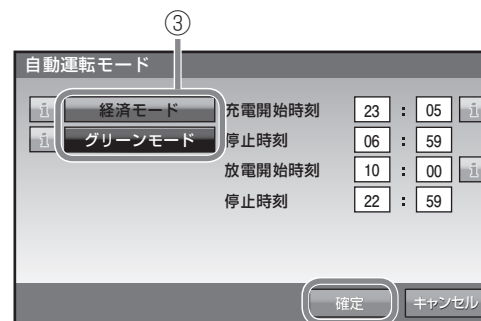


③ モードを変更する

設定したいモードをタッチします。
充放電時刻の設定については、「充放電時間を設定する」(P. 21 ページ) を参照ください。

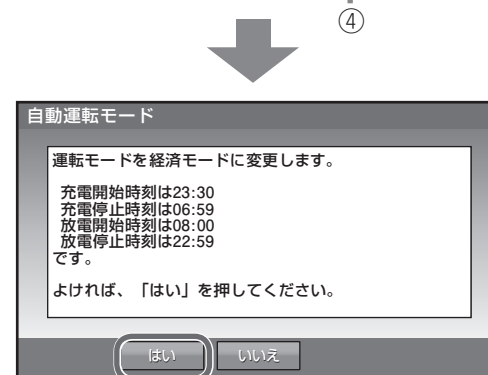
④ 変更したモードを確定する

[確定] をタッチします。



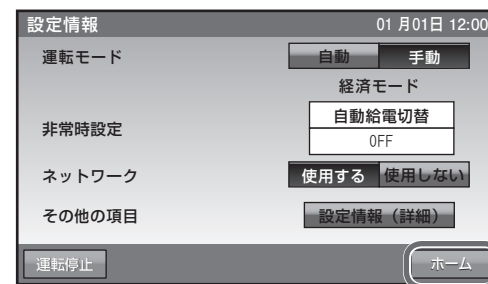
⑤ 変更したモードを保存する

[はい] をタッチします。



⑥ ホーム画面に戻る

[ホーム] をタッチします。



設定

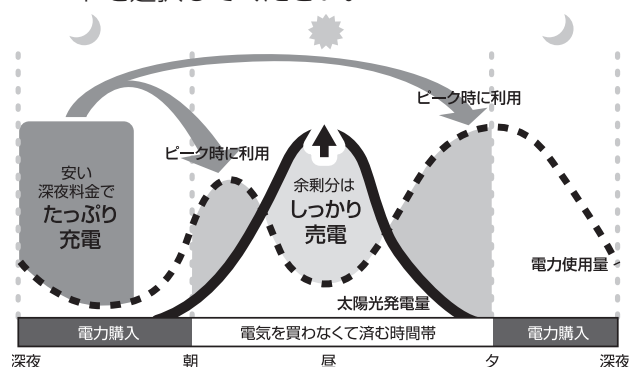
●押し上げ設定「無」の場合の運転モード

■経済モード（推奨）：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の割高な時間帯に設定※することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯には、売電中は蓄電池から放電は行わず、買電中のみ同じ電力を放電します。

※ 充放電時間の設定（※ 21 ページ）

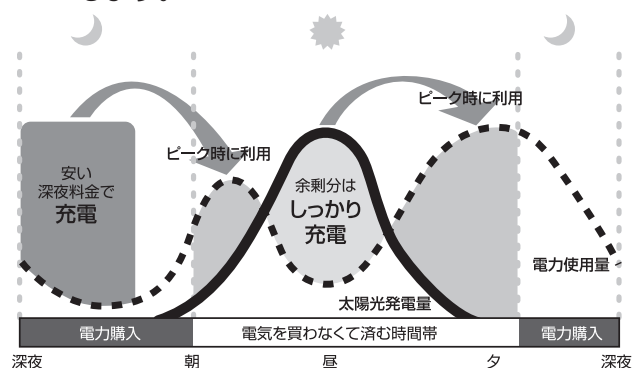
※ 太陽光発電システムがない場合も、経済モードを選択してください。



■グリーンモード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽光により発電した電力の余剰分※で蓄電池の充電を行います。

※ 蓄電池残量が 100% の時は、余剰電力を売電します。



●押し上げ設定「有」の場合の運転モード

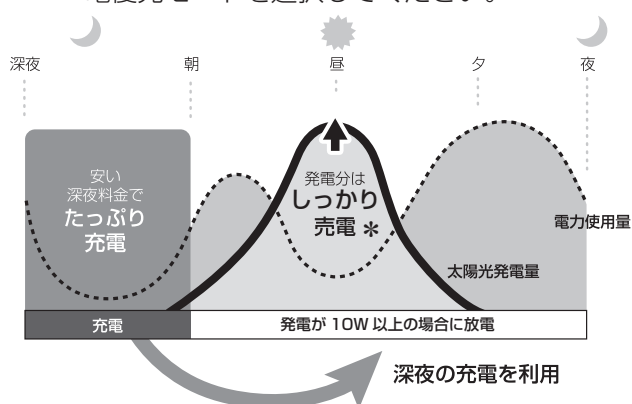
■太陽光売電優先モード（推奨）：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が低い時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。

充電・放電時間以外の不定時間帯※は、太陽光の発電がある場合のみ放電を行います。

※ 充放電時間の設定（※ 21 ページ）

※ 太陽光発電システムがない場合も、太陽光売電優先モードを選択してください。

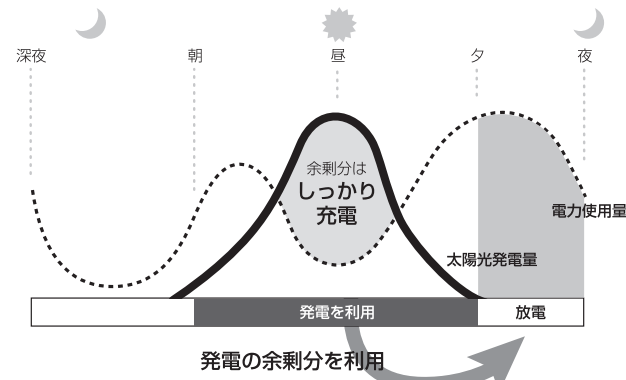


■太陽光充電モード：

充電は太陽光の余剰分からのみ行います。

充電時間帯を太陽光発電を行う時間帯に設定し放電時間帯を太陽光発電を行わない時間帯に設定※することで、自家発電したものを優先的に使用する地産地消モードになります。

※ 充電時間帯を、太陽光発電を行う時間帯に設定しないと、一切充電できないので、注意してください。



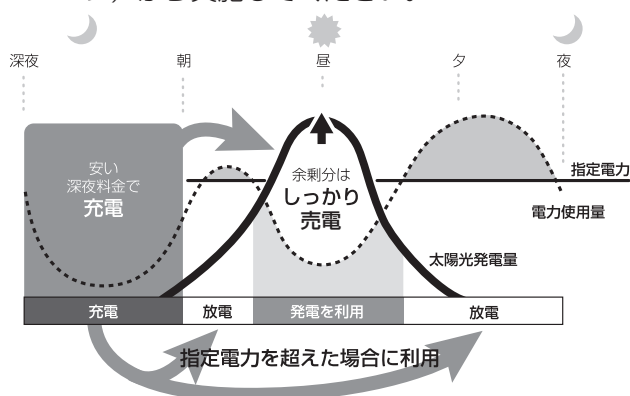
* 電力消費が蓄電池の定格 3.0kW を超える場合は、不足分を太陽光発電で補います。

* 蓄電池容量がなくなった場合は太陽光発電で補います。

■ ピークカットモード：

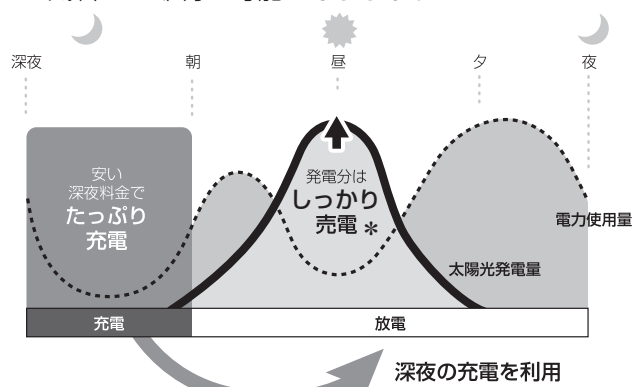
設置時に指定した電力を超える場合は、超えている分を蓄電池から放電し、電力消費のピークをカット※します。放電時間帯を電力消費が多い時間帯に設定します。

※ ピーク抑制電力の初期設定値は、5kW です。
設定値変更は、「設定情報（詳細）」（P.23 ページ）から実施してください。



■ 深夜電力活用モード：

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が安い時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。



- * 電力消費が蓄電池の定格 3.0kW を超える場合は、不足分を太陽光発電で補います。
- * 蓄電池容量がなくなった場合は太陽光発電で補います。

設定

● 押し上げ設定「有」 / 「無」 共通運転モード

■ 充電モード：

時間帯に関係なく、蓄電池への充電のみを行い、家庭内負荷への電力供給（放電）を行わない設定です。蓄電池がフル充電状態になり次第、充電動作を終了します。動作終了後は待機状態になります。

■ 放電モード：

時間帯に関係なく、蓄電池から家庭内負荷への電力供給（放電）のみを行い、蓄電池への充電を行わない設定です※。充電量がなくなり次第、放電を終了します。動作終了後は待機状態になります。

※ 押し上げ設定「無」の場合は、売電中は蓄電池からの放電は行いません。

■ 待機モード：

時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。充放電を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

- ※ 運転モードが手動運転モードに設定されている時に、リモコンの電源を OFF したあと再度リモコンを起動した場合は、自動運転モードに切り替わります。

※ 蓄電池が使用できなくなることを防ぐため、放電モードや待機モードに設定をした場合でも以下の通りの動作を行います。

- ・ 充電量が少なくなった場合は、運転モードに関わらず設定した充電開始時刻から充電を開始します。
- ・ 待機モードまたは放電モードに設定してから24時間経過後に、自動で設定した運転モードに切り替わります。

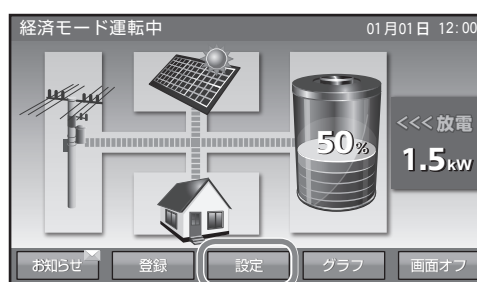
非常時（停電時）の設定をする

もしも停電になったときのために、非常時設定や非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。
「非常時設定」：[自動給電切換設定]
「非常時安心設定」：[OFF]

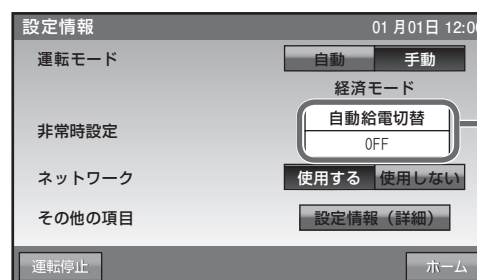
① 設定情報画面に切り替える

[設定] をタッチします。



② 非常時設定を選択する

設定したい項目をタッチします。

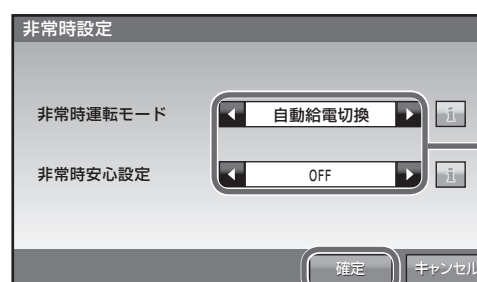


③ 設定を変更する

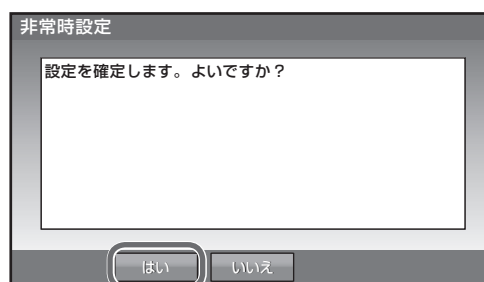
◀/▶をタッチします。

④ 変更した内容を確定する

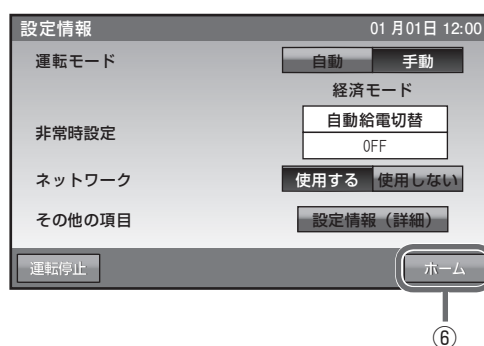
[確定] をタッチします。



- ⑤ 設定を保存する
[はい] をタッチします。



- ⑥ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



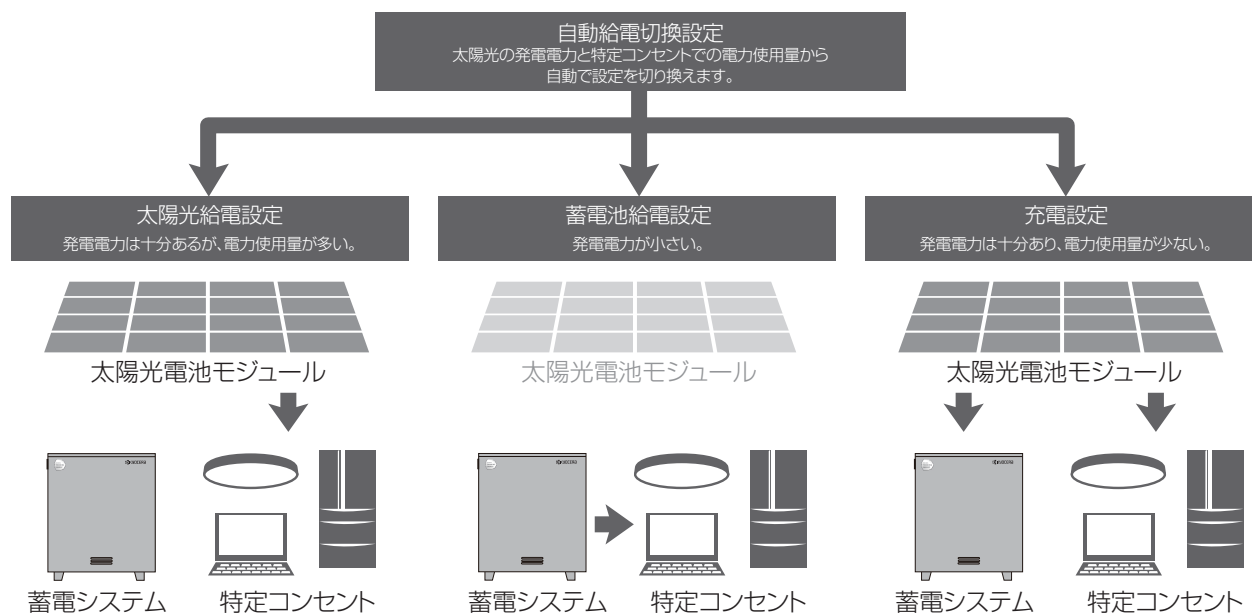
非常時設定	次ページをご覧ください。
非常時安心設定	停電時に蓄電システムから特定コンセントへの給電ができるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。指定蓄電池残量を下回ると給電を停止します。 指定できる蓄電池残量は 0(OFF)、30、40、50、60、70% です。蓄電池残量が設定値 + 5% 未満の場合、誤作動防止のため、給電を開始しません。

(次ページに続く)



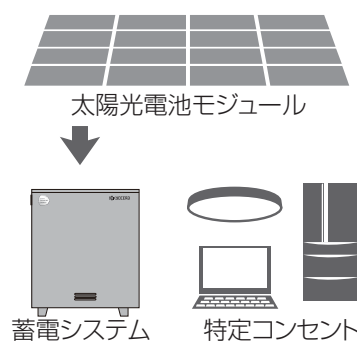
非常時設定について

注：太陽光パワーコンディショナは、自動で自立出力の ON、OFF を行いません。
太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、停電直後、復電直後は操作してください。



- 自動給電切換設定は、太陽光給電設定、蓄電池給電設定、充電設定を太陽光の発電電力と負荷電力を判断しながら自動で切り換えます。最も利用しやすい設定です。
 - 太陽光給電設定は、太陽光から特定コンセントに給電（最大 15A：1500W）を行います。蓄電システムから特定コンセントへの給電、太陽光から蓄電システムへの充電は行いません。太陽光の発電電力が小さい場合、家電製品を稼働できない場合があります。
 - 蓄電池給電設定は、蓄電システムから特定コンセントに給電（最大 20A：2000W）を行います。太陽光から蓄電システムへの充電、特定コンセントへの給電は行いません。
 - 充電設定は、太陽光から特定コンセントへの給電（最大 15A：1500W）、蓄電システムへの充電を行います。
- 特定コンセントでの消費電力が大きいと、充電できない場合があります。太陽光の発電電力が小さい場合、特定コンセントへの給電、蓄電システムへの充電ともできない場合があります。

強制充電設定



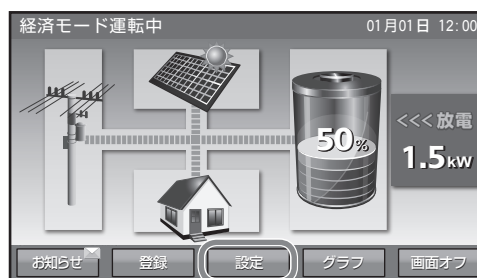
- 強制充電設定は、太陽光から蓄電システムへの充電のみ行います。特定コンセントへの給電は一切行われません。

充放電時間を設定する

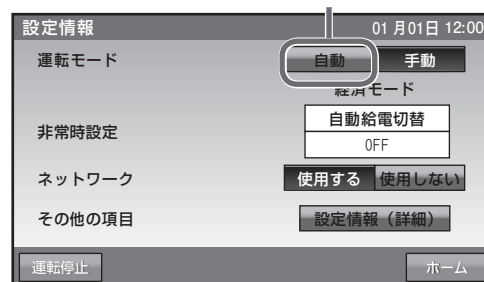
通常運転時の充電開始 / 停止時刻、放電開始 / 停止時刻を、運転モードごとに設定できます。

- 製品出荷時の設定は次のとおりです。
「充電開始 / 停止時刻」：23:05 ～ 6:59
「放電開始 / 停止時刻」：10:00 ～ 22:59

- ① 設定情報画面に切り替える
[設定] をタッチします。



- ② 運転モードを選択する
[自動] をタッチします。



- ③ 設定を変更する
設定を変更したい項目の時刻をタッチします。



(次ページに続く)

④ 時刻を設定する

数字キーをタッチすると、新しい時刻が入力されます。

←/→をタッチすると、カーソルが移動します。

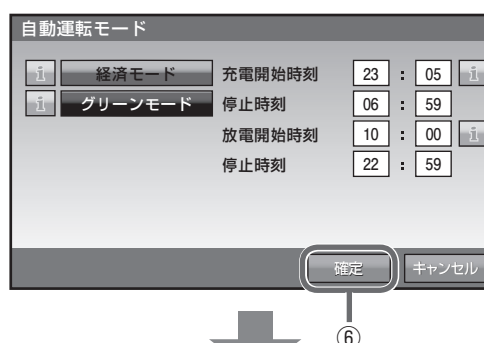


⑤ 変更を決定する

[決定] をタッチします。

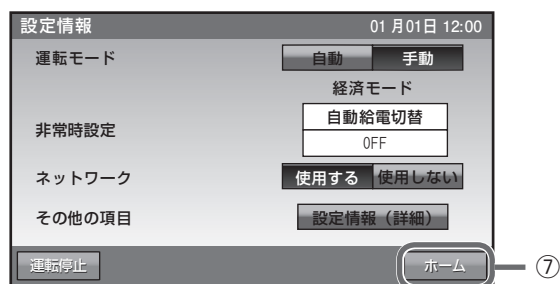
⑥ 設定を確定する

[確定] をタッチします。



⑦ ホーム画面に戻る

[ホーム] をタッチします。



充電開始時刻 停止時刻	蓄電池に充電するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。深夜時間帯がお得です。 ● 充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。
放電開始時刻 停止時刻	蓄電池から電力供給するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。深夜時間帯以外がお得です。 ● 充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。

※ 周囲温度が低い場合、蓄電池の特性上充電可能量が減少し、100%にならない場合がありますが故障ではありません。

※ 充電開始時刻を 23:05 より遅らせる、あるいは、充電停止時刻を 6:59 より前に設定すると、充電時間が不足し、100%充電にならない場合があります。

※ 正確な蓄電池残量を求めるために待機時間が必要になります。蓄電池の充電完了後、1 時間は強制的に待機状態になります。この状態では、放電を開始することができません。
また、指定した充電停止時刻までに蓄電池の充電が完了しない場合は、充電停止時刻から 1 時間は強制的に待機状態になります。なお、放電を行うことは可能ですが、正確な蓄電池残量を把握できなくなるため、極力お控えください。

室内リモコンのタッチパネルや操作音の設定を変える

タッチパネルの画面の明るさや画面操作音などを、お好みで調整してください。

● 製品出荷時の設定は次のとおりです。

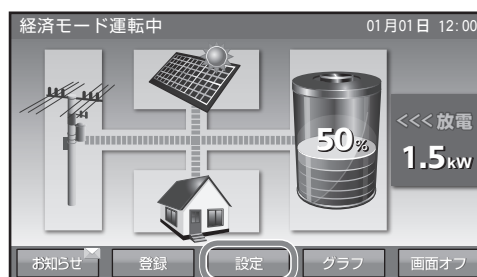
「画面オフ時間（分）」：[5]

「操作音」：[ON]

「画面明るさ」：[5]

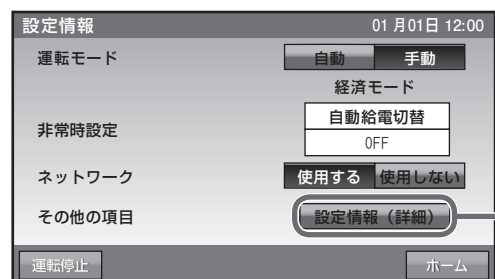
① 設定情報画面に切り替える

[設定] をタッチします。



② 設定情報（詳細）に切り替える

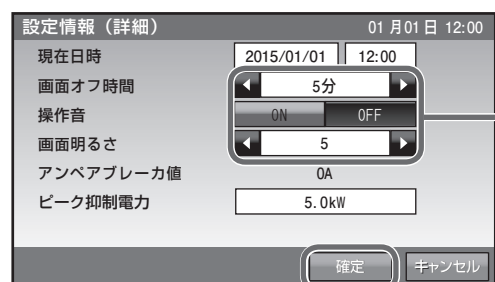
[設定情報（詳細）] をタッチします。



③ 設定を変更する

設定したい項目をタッチします。

◀/▶をタッチすると、時間などが変更できます。



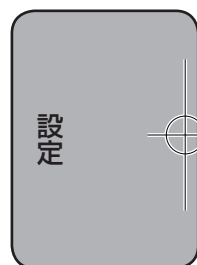
④ 設定を確定する

[確定] をタッチする。

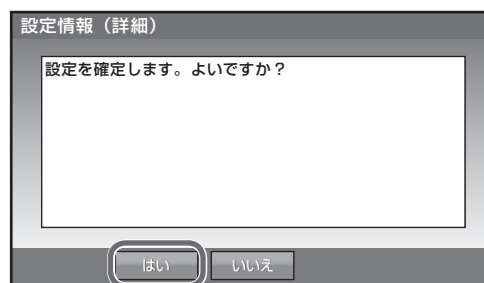


※アンペアブレーカ値が表示されますが、値はお客様では変更できません。

(次ページに続く)



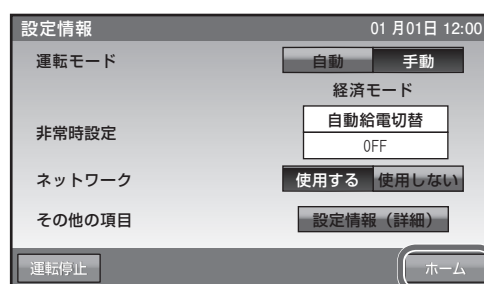
- ⑤ 変更した設定を保存する
[はい] をタッチします。



⑤



- ⑥ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



⑥

画面オフ時間 (分)	タッチパネルを操作していない場合に、画面がオフするまでの時間 (1 ~ 10 分) を設定できます。
操作音	画面操作音を ON/OFF 設定できます。
画面明るさ	タッチパネルが見つらいと感じたとき、お部屋の明るさに合わせて、タッチパネルの明るさを 10 段階で設定できます。
アンペアブレーカ値	契約アンペアに従って設置時に値が設定されます。 20A・30A・40A・50A・60A は制限値です。0A は制限なしとなります。 蓄電池が充電時に設定された値の電流を超えないように制御します。
ピーク抑制電力	ピークカットモード運転時にピーク抑制電力を超える買電電力を蓄電池から放電します。 押し上げ設定「有」の場合のピークカットモードのみで機能する設定です。

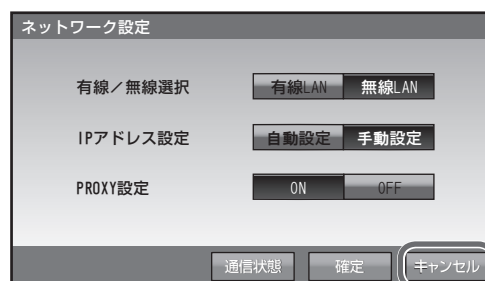
ネットワークの設定について

※ ネットワーク設定は、通常使用しません。

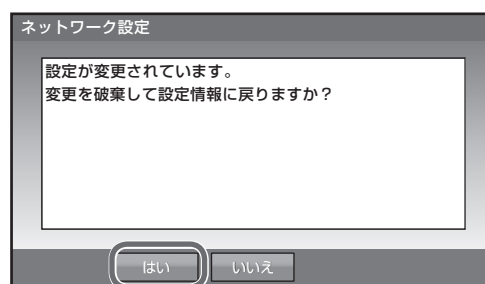
[設置時に設定しますので、通常お客様に設定して頂く必要はありません。]

■ ネットワーク設定画面に入ってしまった場合

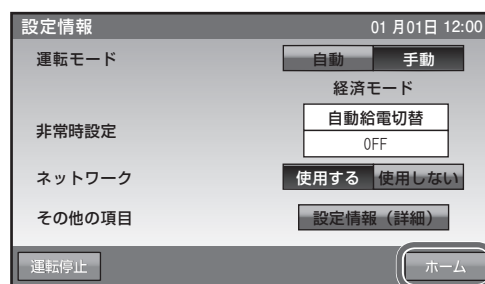
① [キャンセル] をタッチします。



② [はい] をタッチします。



③ [ホーム] をタッチしてホーム画面に戻ります。

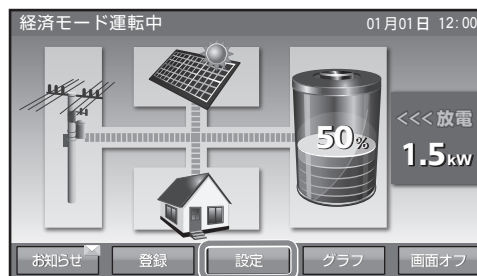


- ECHONET Lite 通信で接続する場合は、お客様のネットワーク環境と別途配線工事が必要となります。ご利用に関しては、弊社専用ダイヤル (☎ 裏表紙) もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

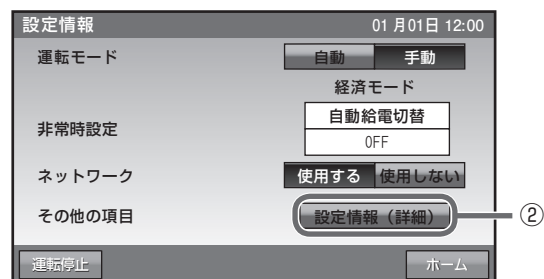
日時の設定

現在日時の設定ができます。

- ① 設定情報画面に切り替える
[設定] をタッチします。



- ② 設定情報（詳細）に切り替える
[設定情報（詳細）] をタッチします。



- ③ 日時設定画面に切り替える
[日時] をタッチします。



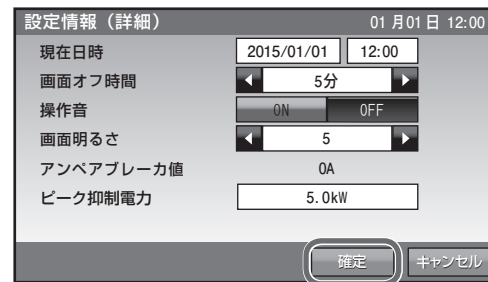
- ④ 変更日時を選択する
変更したい日時をタッチします。



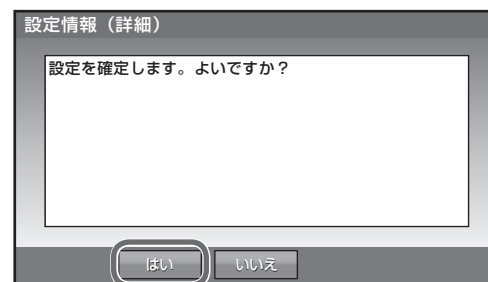
- ⑤ 日時を入力する（24 時間表示）
数字キーをタッチすると、新しい日時が入力されます。
←／→をタッチすると、カーソルが移動します。

- ⑥ 変更した設定を決定する
[決定] をタッチします。

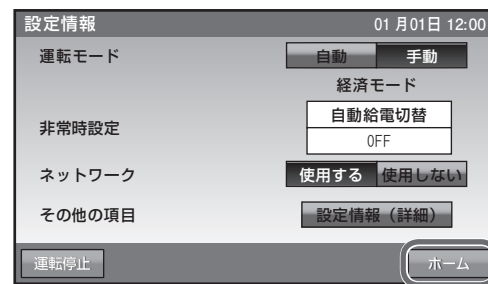
- ⑦ 設定を確定する
[確定] をタッチします。



- ⑧ 設定を保存する
[はい] をタッチします。



- ⑨ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



設定

- 現在時刻は長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的に修正することをお勧めします。現在時刻に進みや遅れが生じると、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の可能性があります。

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チリチリ音	
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。 (運転開始時と、停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

- 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

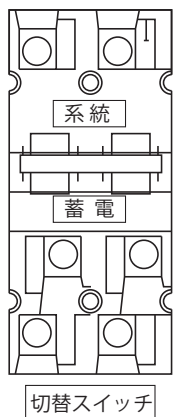
60A までのアンペアブレーカが設置されているご家庭で、アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、弊社専用ダイヤル (☎裏表紙) もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、弊社専用ダイヤル (☎裏表紙) もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した（停止させる）場合

- 分電盤内の蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしてください。
分電盤内に「蓄電システム」のシールが貼ってあります。
- 分電盤内あるいは横の特定コンセント用切替スイッチを「系統」側にしてください。
 - ※ 蓄電システムが停止すると、特定コンセントへは給電されません。必ず、「系統」側への切り替えを行ってください。



スイッチを上にあげて、「系統」側に切り替える。

- ※ 故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ及び、蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。蓄電システム用ブレーカを「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、弊社専用ダイヤル (☎裏表紙) にご連絡ください。

特定コンセントが頻繁に落ちる場合

連系時は、特定コンセントの定格出力は 2000W (20A) です。接続している家電製品を減らす等、定格を超えないように工夫してください。

室内リモコンの画面が表示されない場合

- 停電状態以外で、室内リモコン画面が表示されない場合は、室内リモコンが故障している可能性があります。
お買い上げの販売会社にご連絡ください。
- 停電状態で、室内リモコン画面が表示されない場合は、蓄電池残量がない場合も考えられます。
「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」の処置を行っても室内リモコンが表示されない場合は、弊社専用ダイヤル（☎裏表紙）もしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合

- 停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合には、蓄電システムが停止します。その場合、室内リモコン画面は真っ暗になり、画面をタッチしても何も表示されません。

停電状態で、室内リモコンの電源が入っていない場合は、下記の操作を行ってください。

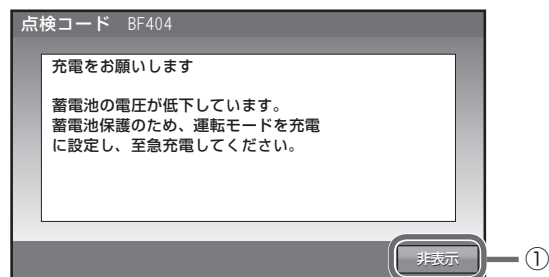
太陽光発電の自立運転が可能な場合

「停電時の使い方」（☎ 10 ページ）と同様に、太陽光発電を自立運転に切り替えます。太陽光発電から蓄電システムに電力が供給されると、室内リモコンの電源が入ります。

1. 太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を自立運転に切り替えてください。
2. 電力が太陽光から供給されると、室内リモコンが操作できるようになりますが、下記のメッセージが表示されるので、①の[非表示]ボタンをタッチして、メッセージを閉じてください。
3. 設定 1 の非常時設定を「自動給電設定」或いは「強制充電設定」にしてください。

※「強制充電設定」の間は、特定コンセントには一切電気が供給されませんが、蓄電池残量がゼロのため、十分な電力が充電できるよう、可能な限り「強制充電設定」を選択してください。

※ 室内リモコン上に点検コードが表示された場合には、「点検コードが表示されたとき」（☎ 34 ページ）の処置に従ってください。



太陽光発電の自立運転ができない場合

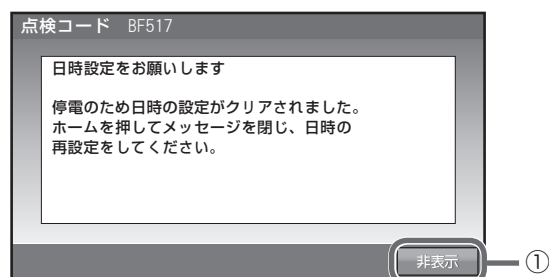
停電の復旧後、下記の操作を行ってください。

- ・ 停電状態から復電し、上記の画面が表示された場合には、下記の操作を行ってください。
 1. ①の[非表示]ボタンをタッチして、メッセージを閉じてください。
 2. 「運転モードを選ぶ」（☎ 14 ページ）に従い、「充電モード」を選択し、十分に充電を行ってください。
「充電モード」に設定しない場合でも、「経済モード」、「グリーンモード」、「太陽光売電優先モード」、「深夜電力活用モード」、「ピークカットモード」が設定されていれば、充電時間帯に自動で充電を行います。
- ・ 停電状態から復電し、下記の画面が表示された場合には、メッセージに従って、現在時刻を設定してください。

1. 日時設定の画面に切り替える

① [非表示] ボタンをタッチして、メッセージを閉じてください。

2. 「日時の設定」（☎ 26 ページ）に従い、日時の設定を行ってください。

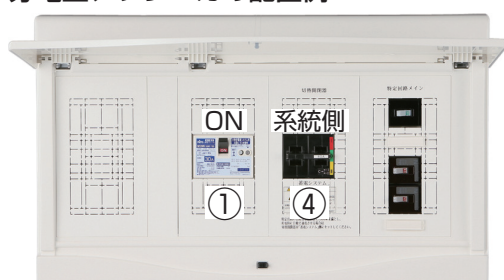


長期不在の場合

- 長期不在にする場合は、運転モードを「経済モード」、「グリーンモード」、「太陽光売電優先モード」、「深夜電力活用モード」、「ピークカットモード」、「充電モード」のいずれかに設定し（※ 14 ページ）、蓄電分電盤セットIまたは、蓄電分電盤セットHの「①蓄電システム用ブレーカ」と住宅用分電盤の「②契約ブレーカ」は「ON」の状態に維持してください。

※ 特定コンセントに接続されている家電製品を含め、家電製品に電気を供給したくない場合は、住宅用分電盤内の「③主幹ブレーカ」を「OFF」に、「④切替スイッチ」を「蓄電システム」側から「系統」側に切り替えてください。

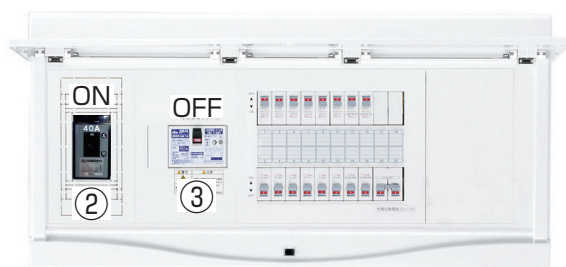
分電盤、ブレーカの配置例



蓄電分電盤セットI



蓄電分電盤セットH



住宅用分電盤



太陽光発電
専用ブレーカ

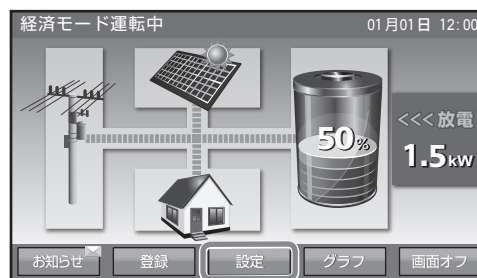
- ①：蓄電システム用ブレーカ
- ②：契約ブレーカ
- ③：主幹ブレーカ
- ④：切替スイッチ

- 蓄電システム用ブレーカ、契約ブレーカを「OFF」にする場合は、運転停止作業を実施した上で2週間以内としてください。

※ 蓄電システム用ブレーカ、契約ブレーカを「OFF」の状態に、2週間を超えて放置されると、蓄電池残量が減り、過放電となるため、蓄電池が使用できなくなる可能性があります。

室内リモコンから蓄電システムを停止するには、下記の手順で行います。

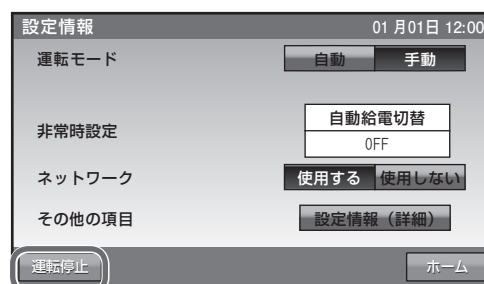
- ① 設定情報画面に切り替える
[設定] をタッチします。



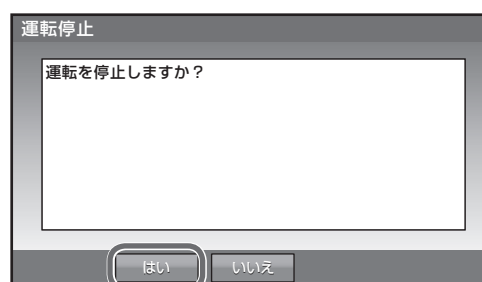
①



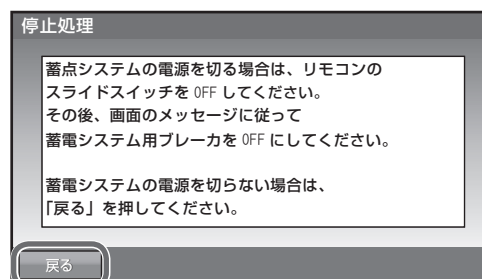
- ② 運転停止を選択する
[運転停止] をタッチします。



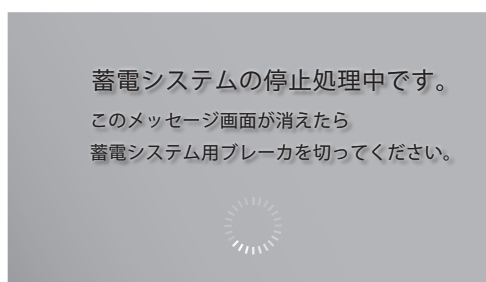
- ③ 運転停止を確定する
[はい] をタッチします。



- ④ リモコンを OFF にする
メッセージに従い、リモコンのスライドスイッチを OFF にします。
※運転停止しない場合は [戻る] をタッチします。



- ⑤ ブレーカを OFF にする
リモコンの画面が消えた後に蓄電システム用ブレーカを OFF にします。

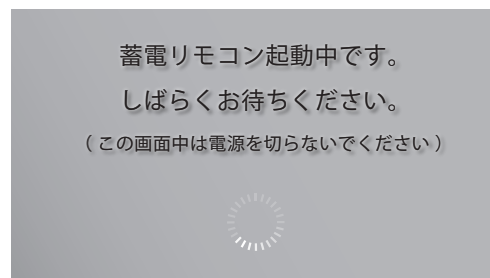


停止した蓄電システムを起動するには、以下の手順で行います。

① ブレーカ・リモコンを ON にする

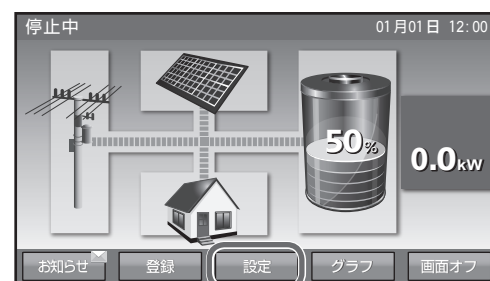
蓄電システム用ブレーカを ON にしたあと、リモコンのスライドスイッチを ON にします。

※右の画面表示中は電源を切らないでください。



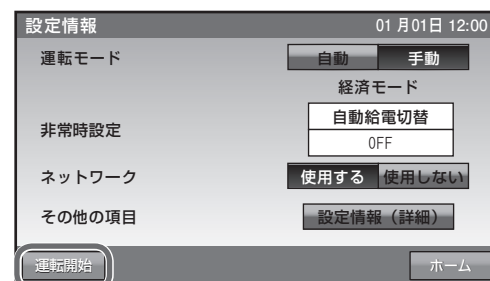
② 設定情報画面に切り替える

[設定] をタッチします。



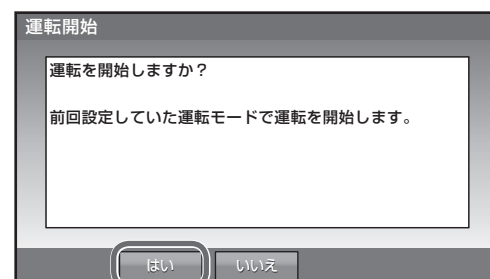
③ 運転開始を選択する

[運転開始] をタッチします。

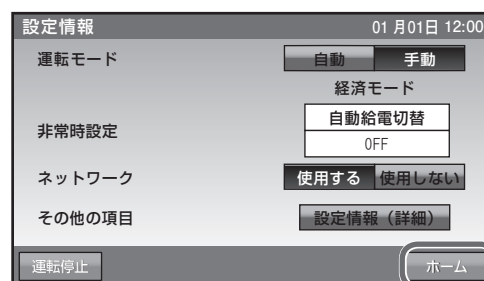


④ 運転開始を確定する

[はい] をタッチします。



- ⑤ ホーム画面に戻る
[ホーム] をタッチします。



⑤

風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、あらかじめ蓄電システムの運転を停止（☞ 30 ページ）させて蓄電システム用ブレーカを「OFF」※にしてください。

また、水没した場合には、蓄電システムを停止させて蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態で販売会社までご連絡ください。

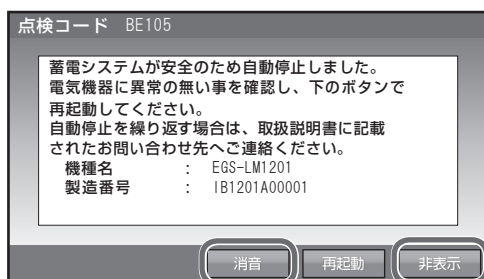
地震の場合は、被害状況に応じて、販売会社までご連絡ください。

また、蓄電ユニットが転倒した場合には、蓄電システムを停止させて蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした状態で販売会社までご連絡ください。

※ 蓄電システム用ブレーカを「OFF」にした場合は、必ず、切替スイッチを「系統」側にしてください。

点検コードが表示されたとき (点検ランプが点滅しているとき)

点検コードが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。次の表に従って処置してください。弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社に連絡して頂く際には、画面に表示される機種名、製造番号、点検コードもご連絡ください。



[非表示] をタッチすると、30 秒間点検コードを非表示にします。

[消音] をタッチすると、ブザー音が止まります。

※ 点検コードが出た状態で放置しないでください。
過放電の状態となり、電池交換（有償）となることがあります。

■ 点検コードの内容と処置

点検コード	処置
充放電時刻重複 充放電時刻が重複 または開始時刻と終了時刻が重複しているため設定できません。	時間帯の重複がないように再設定してください。(P.21 ページ)
点検コード BExxx 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	分電盤内あるいは横にある切替スイッチを「系統」にし、弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(P.裏表紙)
点検コード BExxx 蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動停止を繰り返す場合は、弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(P.裏表紙)
点検コード BE203 特定出力電力オーバー 特定コンセント / スwitchの接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、再起動を押して蓄電システムを再起動してください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
点検コード BFxxx 蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。 自動停止を繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。	自動停止を繰り返す場合は、弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(P.裏表紙)
点検コード BF517 日時設定をお願いします 停電のため日時の設定がクリアされました。 非表示を押してメッセージを閉じ、日時の再設定をしてください。	メッセージに従い、日時設定を行ってください。(P.26 ページ)
点検コード BC417 蓄電システム点検 蓄電システムの点検が必要です。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へお早めにご連絡ください。	弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(P.裏表紙)

■ 温度による動作について

本体内の温度センサーが、 -20°C 未満または $+55^{\circ}\text{C}$ 以上を感知すると、リモコンに下記メッセージが表示され、ブザー音が鳴ります。
「蓄電システムが自動停止しました。安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお客様相談窓口へご連絡下さい。 点検コード BF405」
エラー解除等の操作の必要はありません。
 -15°C 以上または $+50^{\circ}\text{C}$ 未満になると自動的に復帰します。

- 停電時あるいは復電時に下記のメッセージが表示された時には、「停電時に蓄電池残量がなくなってしまった場合」(P. 29 ページ)に従い、充電を行ってください。
「蓄電池の電圧が低下しています。蓄電池保護のため、運転モードを「充電」に設定し、至急充電してください。点検コード BF404」

HEMS の充放電電力量について

HEMS で充放電電力を確認された場合には、放電電力量が充電電力量よりも小さくなる事が一般的です。これは、電気回路には「電力損失」が存在していることが要因であり、放電時の電力によっては最大で 30% 程度の差異がみられることがあります。

放電中の動作について

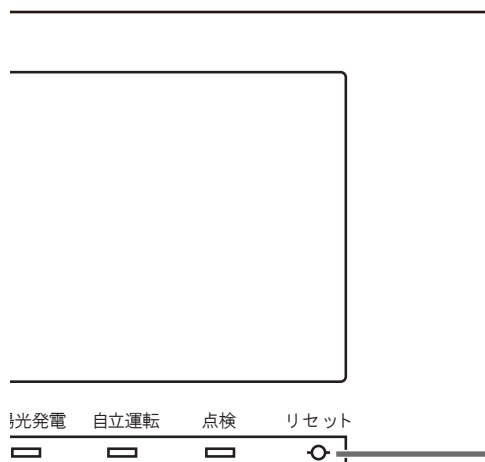
電力会社との取り決め^{※1}により、蓄電システムは放電中であっても微量電力を買電しています。^{※2}

※1 太陽光発電システムと異なり、送電線へ電力を逆流させない決まりとなっています。

※2 負荷容量が 100W 未満の場合及び負荷容量と太陽光発電容量が均等になる場合、リモコン表示が放電と待機で繰り返し切り替わることがあります。

室内リモコンのリセット

- 室内リモコンのマイコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときにのみ、以下の手順で行ってください。



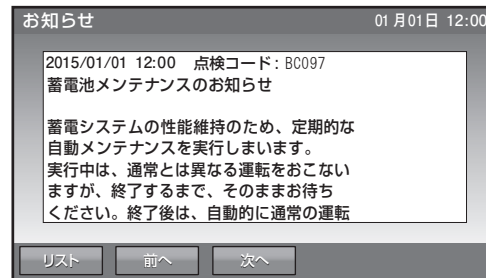
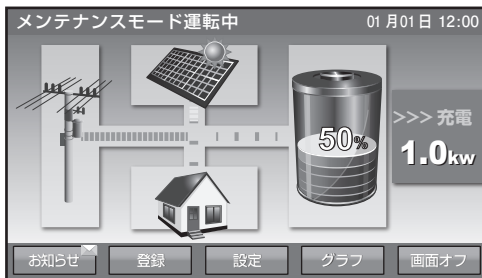
- ① 室内リモコンの左側面にある電源スイッチをオフにしてください。数秒で室内リモコンがオフ状態になった場合には、リセットボタンを押す必要はありません。
- ② ①において電源がオフにならなかった場合には、電源スイッチをオフのままでペン先などでリセットボタンを押してください。

再度ご使用の場合は、電源スイッチをオンにしてください。

蓄電池のメンテナンスモードについて

- メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

蓄電システムの性能維持のために、年 1 回（6 月）自動でメンテナンスモードを実行します。
メンテナンスモード実行時に [お知らせ] をタッチすると、室内リモコンに内容が表示されます。



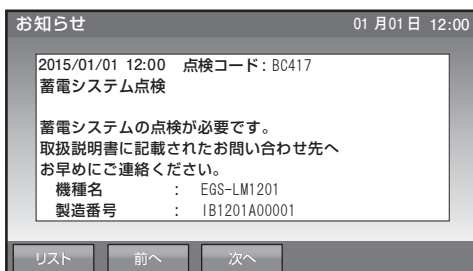
「充放電時間を設定する」（21 ページ）で設定されている充電時間帯に充電を行い、その後、設定している通常運転モードで、時間帯に関係なく、蓄電池から放電を行います。メンテナンスモード終了後は、通常モードに戻ります。

- ※ 電池性能維持のため、メンテナンスモードの画面が現れたら、メンテナンスモードが終了し通常モードの画面に変わるまで、モード変更の操作は控えください。
- ※ メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。
- ※ メンテナンスモード実行中も、放電モード・充電モードへの変更は可能です。（メンテナンスモードはキャンセルされます）
- ※ メンテナンスモード実行中は、お客様の意図しない動作をすることがあります。
- ※ メンテナンスモードでは、蓄電池残量 100% まで充電した後、0% まで放電を行います。
そのため、家庭内負荷 1000W で使用の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は、押し上げ設定「有」では 15 時間程度、押し上げ設定「無」では 25 時間程度となります。
- ※ 11 回連続してメンテナンスモードがキャンセルされると、9 月に再実行されます。

キャンセルされる条件

- ・放電モード、充電モードに変更した場合
- ・停電発生時
- ・点検コード発生時（BExxx もしくは BFxxx）
- ・蓄電池温度が 10℃未満または 50℃以上になった場合

※ メンテナンスモードが連続してキャンセルされると、性能が維持できず動作しなくなる場合があります。



※ [お知らせ] をタッチして左のメッセージが表示された場合には、弊社専用ダイヤル（裏表紙）もしくはお買い上げの販売会社にご連絡ください。

- ※ ご家庭の消費電力量が少ない場合は、一日でメンテナンスモードが終了しないことがあります。
- ※ メンテナンスモード時は蓄電池の性能を維持するために、約 100W 以上の一般家庭負荷が必要となります。

補助金に関するご注意

購入時に補助金の交付を受けた方

● 設置時から 6 年間の使用が義務付けられています

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合、設置時から法定耐用年数の6年間は、本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から6年以内に修理が必要になった場合は、弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社（☎裏表紙）にご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。

保証書は、弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。

注：上記の記載がない場合に無効となることがあります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

● 修理を依頼されるとき

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- お買い上げ時期
- 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベルに表示）
- 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

● 補修用性能部品の最低保有期間

- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後、10年です。

● 移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

- お客様ご自身では移設を行わないでください。

その他

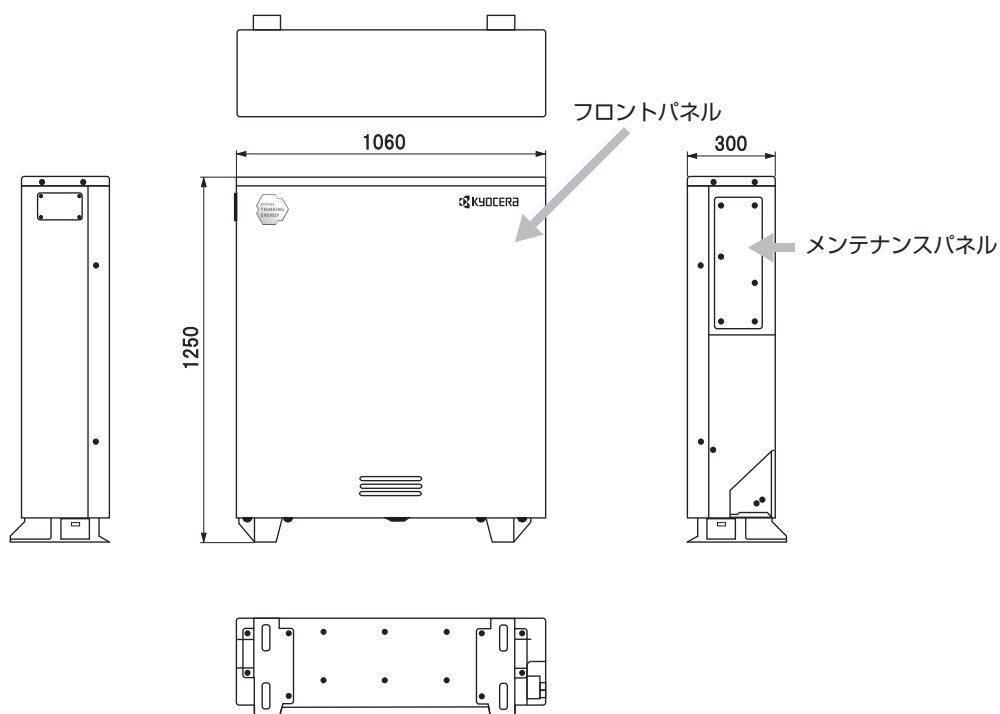
仕様

型番		EGS-LM1201
外形寸法	W1060 × H1250 × D300mm (蓄電ユニット：EGS-LM1201)	
	W170 × H140 × D23.1mm (室内リモコン：EGS-RM03)	
質量	226kg (蓄電ユニット)：EGS-LM1201	
	320g (室内リモコン)：EGS-RM03	
共通定格	蓄電池容量	12kWh
	蓄電池種類	リチウムイオン蓄電池
	蓄電池構成	1 モジュール当り8直列 1 並列、 全 6 モジュール直列構成
	蓄電池定格電圧	DC177.6V (入力電圧範囲：DC129.6V ～ DC196.8V)
系統連系運転時定格	定格出力	3.0kW ± 5%
	定格出力電圧	AC202V (単相 2 線式、ただし接続は単相 3 線式)
	出力電圧範囲	AC202V ± 20V
	定格周波数	50 または 60Hz
	蓄電パワーコンディショナ 単体定格時電力変換効率	放電時電力変換効率：94% (温度 25 ± 2℃、蓄電池定格電圧時)
		充電時電力変換効率：94% (温度 25 ± 2℃、蓄電池定格電圧、CC=16A 時)
	出力基本波力率	約 1 (定格出力時)
	出力電流歪率	総合電流歪率 5%、 各次電流歪率 3% 以下 (定格出力時)
	不要輻射	VCCI クラス B 準拠
蓄電システム自立出力定格	最大出力	2.0kVA ± 5%
	出力電流	最大 20A
	出力電気方式	単相 2 線式
	定格出力周波数	50 または 60Hz
	出力周波数精度	定格周波数に対し ± 1% 以内 (温度 25 ± 2℃)
主回路方式	インバータ変換方式	連系運転時：自励式電圧型電流制御方式
		自立運転時：自励式電圧型電圧制御方式
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式
	絶縁方式	非絶縁トランスレス方式
	冷却方式	強制空冷方式

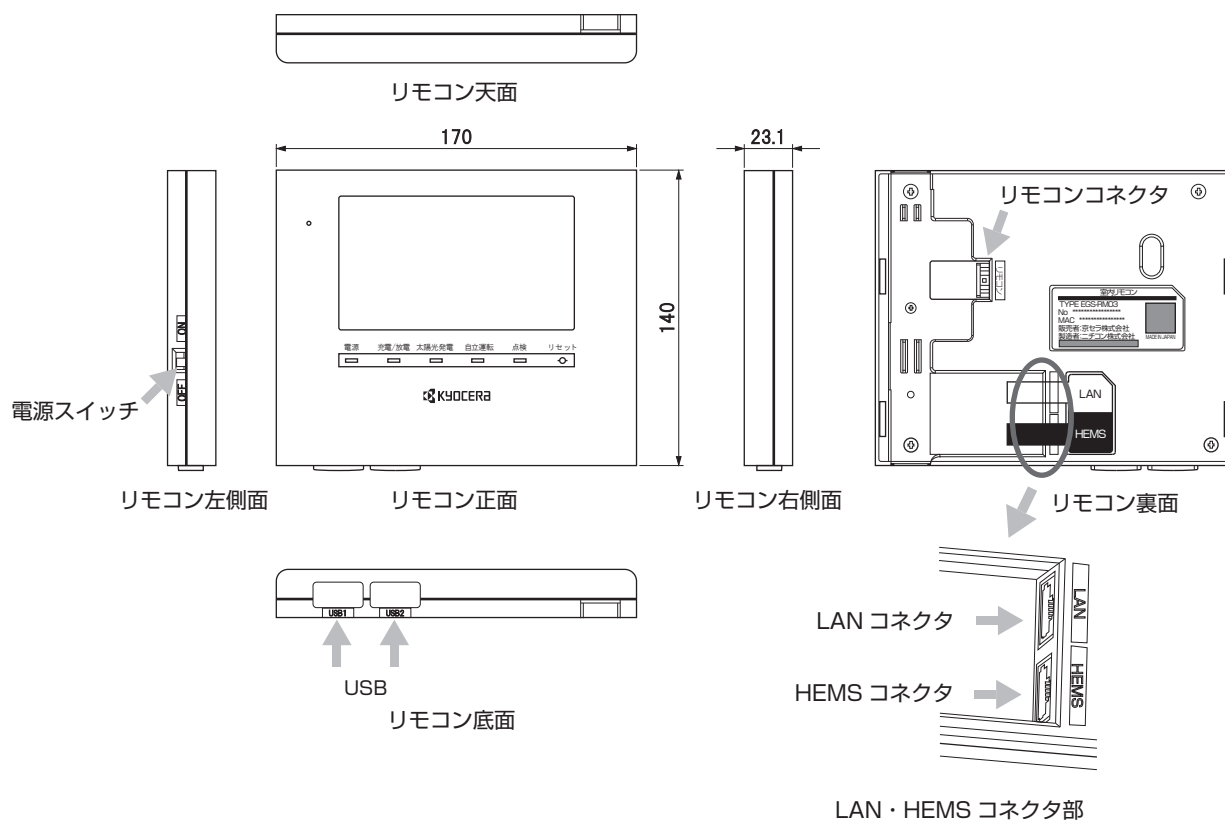
外形寸法

単位：(mm)

蓄電ユニット



室内リモコン



その他

ソフトウェアライセンスについて

● Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタスが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

● GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。

GPL/LGPL のライセンスについては、<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/support/> をご覧ください。

● IPA フォントライセンス

本製品には IPA フォントが入っております。

IPA フォントライセンスについては、下記 URL を参照してください。

http://ipafont.ipa.go.jp/ipa_font_license_v1.html

Memo

Memo

京セラ株式会社

修理・アフターメンテナンス
のご用命は、
「弊社専用ダイヤル」へ



0120-71-9006 (無料)

24 時間受付
土曜・日曜・祝日も受け付けております。



京セラ株式会社

ソーラーエネルギー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 〒612-8501

© 2016 KYOCERA Corporation

当説明書に記載の情報は 2016 年 4 月時点のものです。当説明書については、無断で複製、転載することを禁じます。

●この取扱説明書はリサイクルペーパーを使用しています。

LV42308-14-R-1